

令和7年度当初予算案

令和6年度2月補正予算案



財政・変革局

# 令和7年度一般会計予算案 予算規模 6,435億円(過去最大)

R5 ⇒ 「成長への再起動」予算  
 (「人」、「場」、「企業」の3つのポテンシャルを最大発揮)

- 【成果】
- [5つの過去最高]
    - ・企業誘致による投資額
    - ・北九州港フェリー貨物量
    - ・観光・小倉城入場者数
    - ・ふるさと納税寄附額
    - ・市税収入
  - [生活者目線での施策の充実]
    - ・第二子以降の保育料無償化
    - ・医療的ケア児支援の強化
    - ・学校給食の魅力向上 など

R6 ⇒ 「成長への再起動(第2弾)」予算  
 (「空港」、「若者・子ども」)

- 【主な取り組み】
- ・北九州空港大作戦(空港アクセスの強化策)
  - ・未来の介護大作戦
  - ・Z世代チャレンジ応援
  - ・大規模スポーツ大会の開催  
 (バレーボールネーションズリーグ、第2回FIGパルクール世界選手権・北九州、WTTファイナルズ福岡2024)
  - ・コクラBEAT  
 (紫川ナイトスペクタクル、KOKURA CHRISTMAS & CASTLE など)

令和6年の「社会動態」: **60年ぶりにプラスに転換(転入超過+492人)** ⇒ 「稼げるまち」実現に向けて蒔いた種が芽吹き、**経済が再起動**

**街の元気と勢い**(「社会動態の増加トレンド」や「経済成長」)をより大きなものとするために、**再起動した経済の成長を加速**

## R7予算のテーマ: 「成長への反転攻勢予算～もっと人を魅きつけるまちへ～」

(特に推進する3つの重点テーマ)

### ①女性が「自分らしく」輝けるまち

[女性のチャレンジを応援、女性の視点でまちを変革]

### ②観光大都市への進化

[地域資源(門司港レトロ・若松北海岸・皿倉山夜景、寿司等)の磨き上げ等]

### ③世界をリードするサステナブルシティへのキックオフ

[世界に冠たる持続可能都市への挑戦]

+

令和5年度予算以降通底する推進テーマ

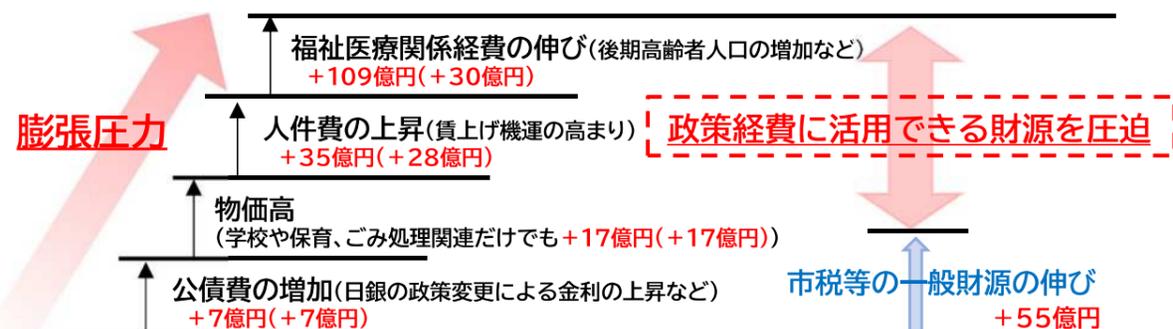
### ④安全・安心な暮らし

### ⑤若者・子どもを応援

### ⑥挑戦する企業を応援

【都市の総合力を高め、世界中から新たな人、企業、投資を呼び込み、「まちの成長」と「市民の幸福」の好循環を実現】

令和7年度予算編成を行っていく上での課題(著しい膨張圧力) ※( )書きは一般財源ベース



財政をめぐる厳しい環境の中、  
 まず、「**財政の模様替え**」すなわち「**創る改革を推進**」

・局X方針等に基づき、資源配分の最適化を図る ⇒ **次世代投資枠141億円を確保**

・若松北海岸や門司港での民間投資促進など「**公民連携の促進**」  
 ・市営バス等における今後の在り方検討に着手するなど「**過去からの政策の転換**」  
 ・市債残高や資材・労務単価上昇を考慮し、「**ポータレースによる未来のまちづくり投資基金**」の創設などにより「**投資的経費 総額642億円を確保**」

経済成長へつながる政策への転換  
 を図ることで、**市税収入等が増加**

⇒ **市民の安全・安心な暮らしの確保・  
 充実を図るとともに、財政を健全化**

# 令和7年度一般会計予算案の構造

## 1 予算規模

令和7年度予算は、**6,435億円**(前年度比 +156億円、+2.5%)

### 〔増要因〕

- 4つの膨張圧力
- 福祉医療関係経費の増加 +109億円(障害福祉サービスなど) **過去最大**
  - 人勧に伴う職員給与費の上昇 +35億円(定年延長等に伴う退職手当を除く)
  - 公債費の伸び +7億円(主に金利の上昇)
  - 物価高の影響 学校、保育、ごみ処理関連だけでも+17億円
  - 「北九州市未来のまちづくり投資基金」積立金 +200億円(※名目上、今年度予算として全額計上)

### 〔減要因〕

- 新日明工場建設事業 ▲193億円
  - 中小企業融資 ▲80億円
- ※国が制度拡充していた新型コロナ関連融資が終了したため

## 2 歳入・歳出の概要

### 【歳入】(主なもの)

市税等の一般財源は、前年度に比べ**55億円**の増加  
3,101億円(前年度比+55億円、+1.8%)

- 市税 **1,885億円**で**過去最高額**を見込む  
(前年度比+91億円、+5.1%)  
※令和6年度定額減税(44億円)の影響を除くと47億円の増加
- 県税交付金 **345億円**(前年度比+29億円、+9.2%)
- 地方交付税等 **825億円**(前年度比▲20億円、▲2.4%)
- 公営競技事業会計からの剰余金の活用 **70億円**  
※例年の収益金繰入(50億円)に加え、設置予定の「北九州市未来のまちづくり投資基金」の一部(20億円)を活用

### 【歳出】(主なもの)

- 人件費 **1,057億円**(前年度比+35億円、+3.4%)  
※定年延長等に伴う退職手当を除く
- 扶助費 **1,749億円**(前年度比+107億円、+6.5%) **過去最大**
- 公債費 **680億円**(前年度比+7億円、+1.1%)
- 投資的経費 **605億円**(前年度比▲139億円、▲18.6%)  
(※**642億円**の事業量)  
※投資的経費は、令和7年度予算と令和6年度2月補正予算を一体的に編成し、合計額は**642億円**を確保。  
※前年度からの減要因は、新日明工場建設事業の減(▲193億円)
- 貸付金 **354億円**(前年度比▲83億円、▲18.9%)

## 3 市債発行額・残高

- 市債発行額 **387億円**(前年度比▲158億円、▲29.0%)  
※臨時財政対策債を除いた場合、対前年度比▲98億円
- 市債残高 **8,056億円**(前年度比▲51億円、▲0.6%)  
※臨時財政対策債を含めた場合、対前年度比▲156億円

## 4 財源調整用基金の活用

- 151億円**(前年度127億円)

# 女性が「自分らしく」輝けるまち

(1)女性の視点に基づくまちづくり推進	(2)女性に快適な環境整備
<p>①新・<u>女性の視点を生かした課題解決・まちづくりの推進</u> <b>25百万円</b></p> <p>女性の視点を生かした都市課題解決や次世代リーダーの育成を図るとともに、女性のコミュニティの場を形成し、幅広く女性の意見を聴取することで、女性にとってコンフォート(快適で安全)なまちづくりを推進</p>	<p>②新・<u>学校トイレ洋式化100%大作戦</u> <b>1,066百万円</b>                      小学校のトイレ改修に加え、特に女子生徒が心身面で大きな変化を生じる中学校においても、全校洋式化を令和9年度までの3か年計画で実施                      (令和7年度:小学校10校、中学校20校)</p> <p>③新・<u>女性目線の快適なトイレ空間の整備</u> <b>5百万円</b>                      「汚い、暗い、臭い、怖い」といったイメージのある公園トイレに対して、女性の声を聴き、女性も安心・快適に利用できるトイレ空間の整備を検討</p> <p>④新・<u>北九州発!「女性が輝くリーディングカンパニー」創出事業</u> <b>15百万円</b>                      女性が働きやすい職場環境づくりを推進するモデル企業の創出に向け、女性用設備の導入や女性活躍に向けた専門家による支援等の費用の一部を助成</p> <p>⑤新・<u>リフレッシュルーム(ミモザルーム)整備事業</u> <b>14百万円</b>                      教職員の育児と仕事の両立や健康増進、ウェルビーイングの向上を図るため、学校に教職員向けのリフレッシュルーム(通称:ミモザルーム)を整備(27校)</p>
(3)女性のヘルスケアサポート	(4)働く親に対する支援
<p>⑥新・<u>女性にやさしい社会づくりに向けたウーマンヘルスケア推進事業</u> <b>11百万円</b></p> <p>女性の健康に配慮した職場環境を推進するため、職場における女性の月経にまつわる困りごとなどの実態調査や、女性自身の健康リテラシーの向上のため、大学生向けセミナーの開催や民間事業所と連携した検診などを実施</p>	<p>⑦新・<u>「働く親の子ども・子育て応援パッケージ」の推進</u> <b>242百万円</b></p> <p>仕事と育児の両立を目指す親世代を応援し、快適で充実した子育て環境を実現するための支援策をパッケージとして提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新・パパ育休ファーストステップ応援奨励金</li> <li>拡・シン・子育てファミリー・サポート事業</li> <li>拡・第2子以降の保育料無償化拡充事業</li> <li>新・送迎保育ステーション試行事業</li> <li>拡・放課後児童クラブの長期休暇等利用者支援事業</li> </ul>

## 地域資源を磨き上げ、国内外へ発信

① **拡**・ナイトタイムエコノミーの推進

287百万円

「泊まる観光都市」に向け、夜間、早朝の観光コンテンツづくりや地元と連携したイベントの開催、快適に夜景観光を楽しめる環境整備等を通じて、まちの賑わいや観光消費を拡大

**拡**・紫川周辺魅力向上関連事業

**新**・北九州ならではの夜間・早朝コンテンツ造成支援事業

**新**・KitaQおもてなしキャンペーン事業

- ・日本新三大夜景都市ブランドを活用した夜型観光促進事業
- ・皿倉山リニューアル事業

② **新**・「インバウンド観光都市」に向けたプレゼンス強化

148百万円

アジア中心にインバウンド需要を取り込むため、戦略的なプロモーションや受入体制の整備などを実施

**新**・インバウンド高付加価値旅行推進事業

**拡**・クルーズ船誘致・受入事業

**新**・広域集客促進事業

③ **新**・「すしの都 北九州」ブランディング強化

17百万円

北九州が誇る豊かな漁場で取れる新鮮で多様な魚を活かし、北九州のすしのブランド化に取り組むとともに、北九州の美食を全国に発信

**新**・「すしの都 北九州」ブランド発信事業

**新**・美味しいおさかな発掘PR事業

④ **新**・関門エリアのアップグレード

74百万円

30周年を迎える門司港レトロの一層の発展に向け、関門連携によるセールス活動を通じたエリア一体の誘客促進、歴史や景観等の観光資源の磨き上げ、エリア全体の賑わいづくり等を実施

**新**・門司港レトロ！30thアニバーサリー事業

**拡**・めぐる！門司港レトロ浪漫創造事業

**新**・門司港滞在型観光強化事業

⑤ **新**・黒崎地区の魅力向上戦略の推進

25百万円

賑わいあふれる黒崎地区の活性化に向け、官民連携による社会実験やイベント等を開催し、エリアとしての魅力向上と民間投資を促進

⑥ **拡**・若松北海岸エリアの観光ポテンシャルの強化

8百万円

雄大な自然景観や新鮮な食材に恵まれ、観光資源のポテンシャルに溢れる若松北海岸エリアへの観光関連施設の誘致を推進するとともに、民間事業者等と連携し、体験型・滞在型観光を促進

**新**・若松北海岸サイクルツーリズム導入実証事業

- ・若松北海岸の自然を活かした体験型・滞在型観光の促進事業

# 世界をリードするサステナブルシティへのキックオフ

## (1) 環境先進都市としてのレガシーを活用・発展

### ①新・サステナブルシティ戦略推進事業 82百万円

市民や企業のサステナブルな活動の継続支援に加え、社会課題に対する新しい解決モデルの体現、投資の呼び込みにより、「まちの成長と市民の幸福の好循環」を実現する「サステナブルシティ」を目指す戦略を策定

### ②新・エコタウンセンター再整備構想策定事業 10百万円

北九州市のカーボンニュートラル、循環経済、自然再興の取組の国内外に向けたPR拠点とするため、既存の環境学習施設の見直しを含めた新たな整備構想を策定

### ③新・次世代太陽光を含む再生可能エネルギーの導入可能性調査 10百万円

次世代の太陽光発電設備の導入に向け、経済合理性なども観点に入れた調査を実施

## (2) 国内有数の再生可能エネルギー拠点への基盤整備

### ④拡・風力発電関連産業の総合拠点化 499百万円

響灘地区の充実した港湾インフラと広大な産業用地を活用し、風力発電関連産業の総合拠点形成を推進

新・浮体式拠点開発検討事業  
新・洋上風力O&M競争力強化事業  
・洋上風力関連産業用地整備事業

### ⑤拡・水素拠点化の推進 26百万円

響灘臨海部を中心とした水素拠点の形成や、水素ローカルサプライチェーン構築に向けた取組等を実施

拡・水素拠点化推進事業  
新・水素ローカルサプライチェーン構築事業

## (3) 市民力をベースに、サステナブルな地域と生活を形成する

### ⑥新・全世代参加型地域コミュニティ推進事業 28百万円

2040年に向けた地域コミュニティの未来像を検討し、「(仮称)北九州市地域コミュニティビジョン」を策定

### ⑦拡・「未来の介護大作戦」推進事業 (一部特別会計) 144百万円

担い手の持続可能性が課題である介護分野で、ロボット・ICT等を活用した先進的介護「北九州モデル」を普及させ、生産性向上を促進

拡・介護シェアリング都市推進事業  
新・(仮称)テクノケア北九州運営事業関連  
・先進的介護「北九州モデル」推進事業

### ⑧新・自然再興の実現 (ネイチャーポジティブ) 18百万円

生物多様性の損失を止め、反転させることとするネイチャーポジティブに取り組むとともに、市民一人ひとりが自然を大切に思い、育むための取組を推進

新・ネイチャーポジティブセンター運営事業  
拡・ネイチャーポジティブ発信事業

# 安全・安心な暮らし

## (1) 安心して暮らせる環境を創る

① **新・防犯対策の緊急強化** 200百万円  
[補正予算]

まちの安全・安心の推進のために、より一層の取組の強化に向け、防犯カメラ・防犯灯の整備加速による緊急的な防犯対策を強化

- 拡**・防犯対策強化事業  
(主要駅周辺に防犯カメラ、通学路に防犯灯を設置)
- 新**・不審者の学校侵入対策事業  
(小・中・高・特別支援学校に防犯カメラを設置)

② **新・安心して歳を重ねることができる終活支援**

5百万円

人生100年時代を迎えようとする中、誰もが自分らしく安心して終活を行えるよう、民間の力を最大限に活用しながら、終活を推進する仕組みを構築

③ **拡・福祉の重層的支援体制強化**  
47百万円

令和7年度から全ての区において、「いのちをつなぐネットワーク」を強化・充実することで、『相談支援』『参加支援』『地域づくりに向けた支援』を一体的に実施

## (2) 生活基盤の「安心」を支える

④ **拡・上下水道の強靱化** (企業会計)  
8,423百万円  
(他に債務負担 557百万円)

上下水道の強靱化を図るため、老朽化した施設の耐震改修等を実施するとともに、重要施設に接続する上下水道管路等を対象とした耐震化計画を策定し、上下水道の一体的な耐震改修を実施

⑤ **若戸大橋・若戸トンネルの強靱化の推進**  
982百万円  
(他に債務負担 2,800百万円)

若戸大橋・若戸トンネルにおける維持管理や緊要度の高い箇所の修繕、橋梁の塗装等を推進

⑥ **新・門司港地域複合公共施設整備事業**  
3,102百万円  
(他に債務負担 11,868百万円)

門司港地域に点在する老朽化した公共施設を集約し、複合化・多機能化することにより、市民サービスの向上や効率化、地域の活性化を促進

# 若者・子どもを応援

## (1) 若者を応援する

①新・[KitaQ Girls Techプロジェクト](#)

5百万円

技術者や研究者を志す女子児童生徒の可能性を応援するため、女子小中学生を対象に、キャリア情報や理工系の楽しさを体験できる機会等を提供

②シブ・ジダイ創造事業

43百万円

「日本一若者を応援するまち・北九州市」の実現に向け、若者の自由な発想や提案を引き出し、それらを実現させるための伴走支援等を実施

③新・[企業型奨学金返還支援事業](#)

12百万円

企業の人材確保と若手従業員の定着及び経済的負担軽減を図るため、奨学金返還支援制度の周知や導入支援を行うほか、導入企業等の支援額の一部を補助

④拡・[スタートアップ起業家育成サポート](#)

5百万円

市内外で活躍する女性起業家による学生を対象とした起業家育成プログラムや、民間主体のアクセラレーションプログラムに対する助成を実施

## (2) 子育て・教育を応援する

⑤拡・[こどもまんなか公園づくり等事業](#)

503百万円

こども目線の公園づくりや子育て世帯が憩える環境づくりを行うとともに、若者文化に対応した公園づくりの社会実験やインクルーシブな子ども広場の基本計画の作成等を実施

⑥新・[「たいけん・まなび充実大作戦」の展開](#)

83百万円

市立小中学校における体験活動の機会と選択肢を充実させるとともに、こどもたちが放課後や長期休み期間に参加できる体験活動の機会をパッケージ化

⑦拡・[「学校エアコン設置加速化大作戦」の推進](#)

31百万円

特別教室(小学校の理科室及び中学校の美術室)におけるエアコン設置率100%を目指して令和9年度までの3か年計画で整備を推進

⑧新・[スーパー・サステナ・ハイスクール推進事業](#)

3百万円

北九州市立高等学校において、グローバル人材の育成及びアントレプレナーシップの醸成を図るため、起業家等による講演会の開催及び国内外への短期留学補助による多様な体験機会を提供

# 挑戦する企業を応援、経済成長の加速

## (1) 未来産業の振興により経済成長を加速させる

### ①新・シリコンシティ北九州への挑戦 103百万円

半導体関連産業振興のため、国内外の半導体関連企業・研究開発拠点の誘致活動を強化し、集積を進めるとともに、人材育成やビジネスマッチングなどを通じて、企業のビジネス拡大や競争力の向上を推進

新・半導体サプライヤー集積促進事業

新・海外半導体関連ビジネス誘致事業

拡・「稼げるまち」への原動力

～未来産業推進事業～(半導体関連)

拡・半導体等サプライチェーン構築事業(物流支援)

### ②拡・次世代自動車産業の振興 (EV・次世代モビリティ社会への対応) 35百万円

北九州学術研究都市を中心に、市内外での次世代自動車についての連携を強化するとともに、研究開発やAI分野も含めた人材育成、企業競争力の向上などの取組を実施

### ③拡・宇宙産業振興の推進 29百万円

宇宙産業の振興のため、セミナーの開催や展示会出展など、地域企業の参入支援や産学連携による研究開発支援の取組を強化するほか、新たに人材育成の取組を実施

## (2) 企業の挑戦を後押しする

### ④新・スタートアップ成長支援ファンド事業 100百万円

ファンドへの出資や、ファンドを運営するベンチャーキャピタル等と連携したハンズオン支援により、スタートアップ等の成長を支援

### ⑤拡・中小企業における生産性向上 ・DX推進事業 200百万円

中小企業のロボット導入やデジタル・AI等の技術を活用したDX推進に向けて、機運醸成から準備、実践に至るまで、ロボット・DX推進センターを中心とした切れ目のない伴走支援を実施

## (3) 産業基盤を強化する

### ⑥新・産業基盤整備による民間投資の促進 8,623百万円

陸・海・空の充実した物流インフラなど、北九州市が持つ強固な産業基盤のポテンシャルを開花させるための整備を実施

・折尾地区総合整備事業 (一部特別会計)

・旦過地区再整備事業 (特別会計)

新・浮体式拠点開発検討事業

・洋上風力関連産業用地整備事業

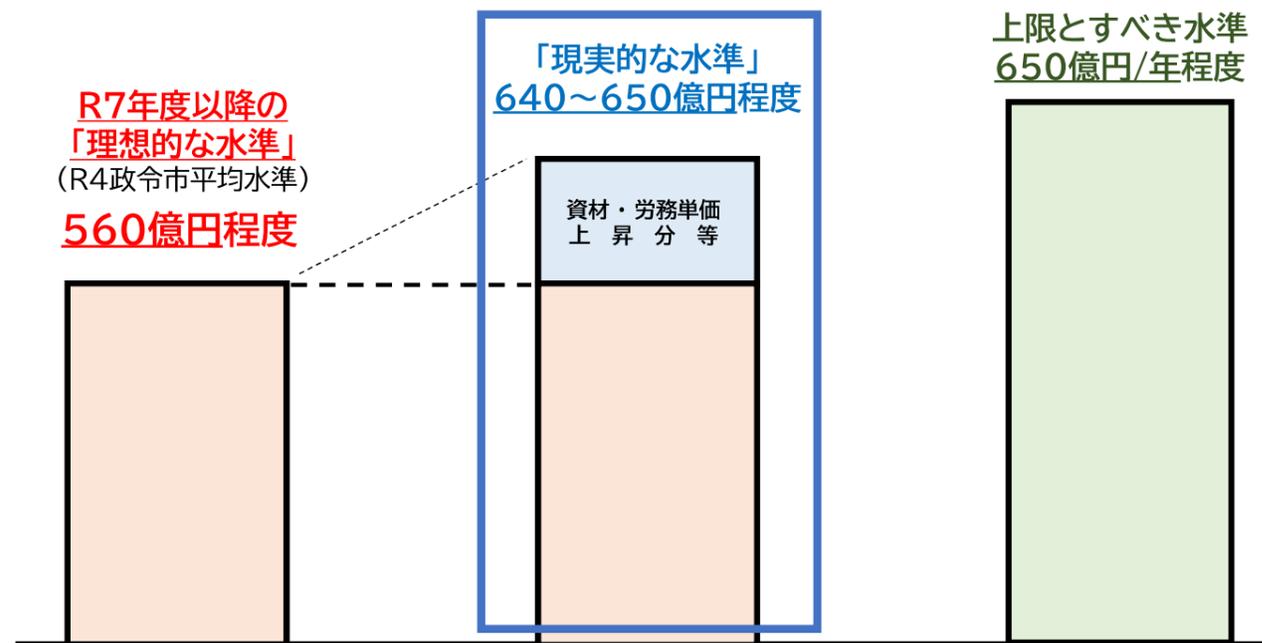
拡・北九州空港の物流拠点化

# 投資的経費の新たな適正水準の考え方について(R7~9年度)

## 基本的な考え方

- 市民1人あたり市債残高が政令市中トップ、財政健全化指標が政令市中ワーストレベルにあるなどの、厳しい財政状況を鑑み、この状況からの着実な改善を図るためには、投資的経費について、市民1人あたり投資的経費の政令市平均(R4)である560億円程度が「理想的な水準」。
- 一方で、緊急度の高い老朽化対応事業が多い中、近年の急激な資材・労務単価の上昇への的確な対応が必要なことから、資材・労務単価の上昇分等を勘案した「現実的な水準」としては、640億円程度が必要となる。
- ただし、投資的経費に関する財政指標の改善傾向を維持するための水準としては、年平均650億円程度であることに留意。令和7年度以降の投資的経費についても、この水準を踏まえつつ、「未来につながる投資」や「市民の安心・安全を守るための公共施設の老朽化対策」などの投資を着実に推進
- なお、市債に過度に依存することなく、将来に向けた都市発展の基盤をつくるため、公営競技の剰余金を活用して新たな基金を創設(未来のまちづくり投資基金)し、未来の市民ニーズを的確に捉えた形で都市の付加価値向上を前倒し・加速化させる

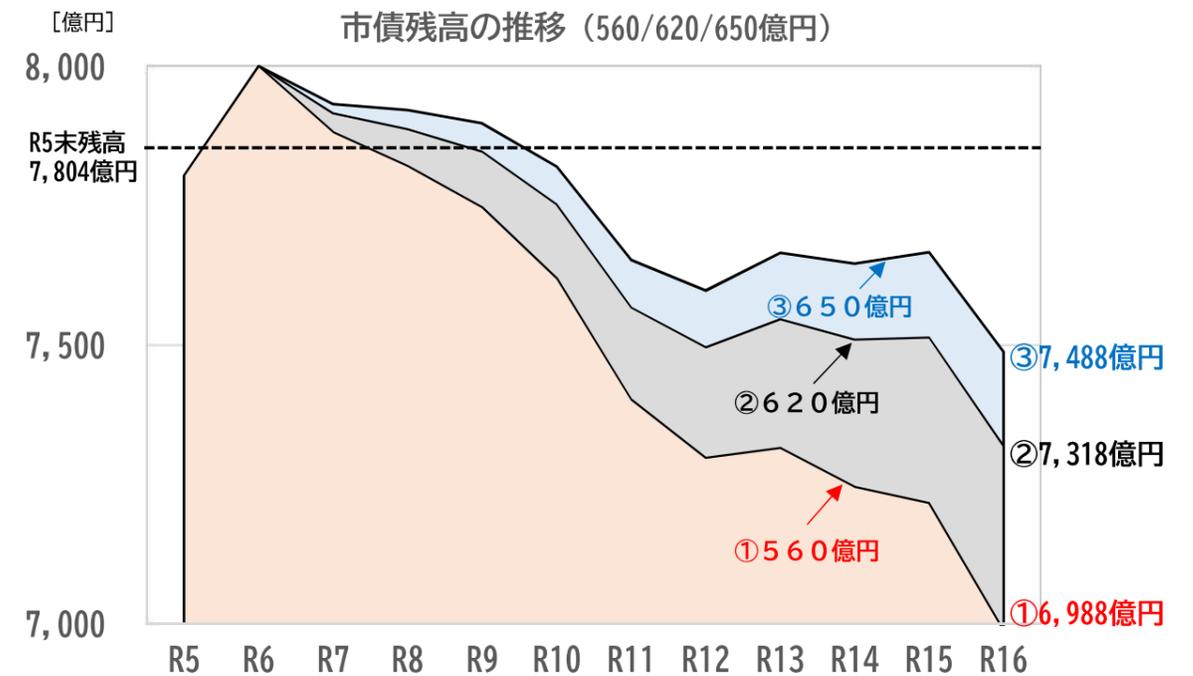
### [新たな投資的経費の適正水準のイメージ]



**上限水準に留意しつつ、「現実的な水準」を確保**

・資材・労務単価上昇率は「建設工事費デフレーター(国土交通省)」を参照  
 ・R5~7は8.2%、R8以降は年2.5%で推計

### [投資額に応じた市債残高の今後の見込み]



環境工場等の進捗で一時的に増加するが、  
**R7以降おおむね減少トレンドを維持(650億円/年程度を上限)**

**新たな基金の活用などを行いながら、「未来につながる次世代投資」や「市民の安心・安全を守るための公共施設の老朽化対策」など必要な公共事業を着実に推進しつつ、市債残高の減少傾向を維持**

## 基金名称

# 北九州市ボートレースによる未来のまちづくり投資基金

## 設置目的

公営競技事業による収益金の一部を財源として、将来に向けたまちの成長及び発展に資する公共施設の付加価値を高める整備を前倒し・加速化

## 背景

- 北九州市が人が集まる、選ばれるまちとして成長・発展していくためには、市民にとっての資産である公共施設の付加価値を向上させる投資が必要だが、財源の確保が課題
- モーターボート競走事業の剰余金を活用して、将来世代とも共有できるストック形成、「未来に向けたまちづくり」に投資し、取組を前倒し、加速化する

## 基金の設置日・規模

- 設置日：令和7年4月1日
- 基金の規模：**200億円**

## 基金を活用して実施する事業(例)

令和7～9年度については、市民ニーズが特に高い子ども・若者が多く利用する施設整備など「未来に向けての投資」を中心に実施

### ○新・学校トイレ洋式化100%大作戦

(小中学校の全てのトイレの洋式化を目指して、令和7～9年度の3年間で集中的に整備)



### ○拡・「学校エアコン設置加速化大作戦」の推進

(小学校の理科室と中学校の美術室・理科室へ、令和7～9年度の3年間で集中的に整備)



### ○学校施設エレベーター設置事業

(小中学校のバリアフリー化推進のためエレベーターを設置)

### ○新・こどもまんなか公園づくり等事業

(「桃園公園わんぱく広場」のリニューアル等)

# 次世代投資枠について

令和7年度当初予算における次世代投資枠（新規及び拡充分）は、



# 一般会計補正予算規模:146億円

主なもの

※ほか特別会計4億円(国民健康保険特別会計の償還金など)、企業会計4億円(下水道事業)



## 市民の安心・安全対策

2億円

- ・防犯対策の緊急強化 **1億9,998万円**  
(主要駅周辺に防犯カメラ、通学路に防犯灯を設置 7,128万円  
小・中・高・特別支援学校に防犯カメラを設置 1億2,870万円)
- ・災害対応の強化 **4,000万円**  
(災害用のトイレカー、車いす対応組立式トイレ等の購入 3,100万円  
災害用の簡易ベッドの購入 900万円)



## 子育て・福祉・医療関連等

42億円

- ・施設型給付(保育所、幼稚園・認定こども園)  
地域型保育給付(小規模保育、事業所内保育)  
児童養護施設等措置費 **32億8,502万円**  
(人事院勧告を踏まえた保育士等の人件費の引き上げに伴う  
保育等に係る費用の増加)
- ・潜在保育士の保育所再就職・復帰支援貸付金交付事業 **565万円**  
(離職中の保育士資格取得者に対する、保育所への再就職準備金等  
の貸付)
- ・障害福祉サービス等関連事業 **4億4,000万円**  
(サービス利用者数の増加等)
- ・精神通院医療費 **2億1,900万円**  
(精神障害に係る通院等による医療費の増加)
- ・特定医療費支給事業 **1億5,200万円**  
(指定難病に係る特定医療費受給者数の増加)
- ・健康診査 **5,270万円**  
(がん検診等の受診者の増加)



## 物価高への対応

12億円

- ・商店街プレミアム付商品券発行支援事業 **2億5,000万円**
- ・福祉サービス事業所、保育所、児童養護施設等への  
光熱費等支援事業 **9億2,673万円**
- ・農林水産事業者を応援！直売所・朝市クーポン事業 **2,000万円**  
(市内直売所等の利用を促すクーポン券の配布)
- ・スポットワーク人材確保補助金 **2,000万円**  
(市内企業とスポットワークを希望する求職者の仲介手数料の  
一部補助)
- ・物価高騰に立ち向かう中小企業等に対する  
生産性向上支援助成金 **3,000万円**  
(中小企業等が行う省エネ投資等の取組に対する一部補助)
- ・公共交通応援事業 **560万円**  
(公共交通事業者へ運行経費の一部補助)



## 公共事業関連

50億円

- ・国の経済対策に基づく公共事業等 **50億 649万円**
  - (道路・街路・河川改修事業 10億1,245万円)
  - 港湾施設整備事業 7億9,560万円
  - 北九州空港整備事業地元負担金 2億6,849万円
  - 大規模改修事業(小学校)・外壁改修事業(小・中学校) 28億9,245万円
  - 民間老人福祉施設整備補助事業 3,750万円)

※ほか令和5年度決算剰余金、運用益の基金積立金等40億円